

リンゴに命学んで

芦屋の
児童館で植樹

復興のシンボルとして

阪神・淡路大震災の被災

地などに植えられてきた

「希望りんご」の植樹会

が17日、芦屋市浜風町、

児童館「浜風の家」であ

った。

敗戦後の日本を勇気づ

けた「リンゴの唄」のよ

うに被災地を励まそう

と、ボランティア団体「こ

の町・花の街・作戦」実

行委（大阪市）が199

7年3月から行ってい

る。自然災害を受けた県

外被災地を含め、106

カ所目、計574本が植

えられたことになる。

震災遺児らをケアする

施設として建てられた

「浜風の家」での植樹会

には、子どもたち約60人

が参加。芦屋市大樹町の

自宅で長男（当時30）

を亡くした後、同市呉川

町に植えられたリンゴを

ボランティアで育てた小

林守さん（78）が「育てる

ことで命の大切さを学ん

で」と話し、参加者らが



リンゴの木を植える子どもたち―芦屋市浜風町

高さ約2層の木5本を植えた。
市立浜風小3年の永井
祐馬くん（9）は「できる

限り世話をしておいしい
リンゴに育てたい」と話
していた。（堀内達成）